

第2部

まちづくりの理念

第1章 基本理念

赤磐市を市内外の人から「住み続けたい」、「住んでみたい」と思われるまちにするため、この総合計画によるまちづくりを進めていく上で、あらゆる分野において常に基本となる共通の基本理念を次のとおり定めます。

赤磐市は、この基本理念を念頭に置き、継続性を持ってまちづくりを進めていきます。

つながり

市民と行政が一体となって地域を築いていくことで、地域への愛着や誇りを持てる、市民が主役のまちを目指します。

うるおい

恵まれた自然を活かすとともに、地域文化を守り地域を支える人を大切にする、こころ豊かで潤いのあるまちを目指します。

にぎわい

地域を支える産業の振興や地域資源を活かした観光振興等により、活力と賑わいのあるまちを目指します。

あんしん

住環境をさらに高め、安全・安心に暮らせる快適なまちを目指します。

第2章 将来の赤磐市の姿

人“いきいき”まち“きらり”活力ある、住みよい、住みたい、赤磐市

このキャッチフレーズは、基本理念を踏まえて、赤磐市が目指す将来のまちの姿を表したものです。

まちづくりは、市民、地域、事業者、行政等すべての人が信頼関係により結ばれた強いきずなの下、共に考え、手を取り、行動していく必要があります。

赤磐市は、この将来の赤磐市の姿を実現していくため、地域特性や資源等の優位性を活かした取り組みを進めていきます。

【人“いきいき”まち“きらり”】

人と人、人と地域、地域と地域等、多様なきずなや結びつきが原動力となって、市民の参画と協働によるまちづくりが推進され、人もまちも輝いて魅力が向上しています。

【活力ある、住みよい、住みたい、赤磐市】

一人ひとりが健康で、生きがいを持って安心して快適に暮らしています。高まったまちの魅力により、赤磐市に「また訪れたい」、「住んでみたい」、「住み続けたい」と感じる人が増え、まちに人が集まり、地域が活性化しています。

第3章 将来人口の目標

人口動態の予測ほど確実な将来予測はないといわれています。このままでは、赤磐市が少子高齢化を伴う人口減少によるさまざまな問題に直面することは避けられません。

少子高齢化・人口減少の進行は日々の生活では実感しづらいため、対策が先送りになりかねません。手遅れとならないよう、できることを今から着実に実施していくことが必要です。

赤磐市では、推計されている人口減少を食い止め、人口を維持・伸長させていくための取組の指針として、将来人口の目標を設定します。

この目標に対する取組は、第2次赤磐市総合計画の期間中のみならず、より長期間を見据えて赤磐市が全体で取り組むべき最も重要なものとしします。

第2次赤磐市総合計画では、この目標を念頭に置いて、以下の視点から各種施策の検討を進めていきます。

令和6年(2024)年度末の赤磐市の総人口目標 42,000人
(令和6年(2024)年度末の赤磐市の合計特殊出生率1.61を目指します。)

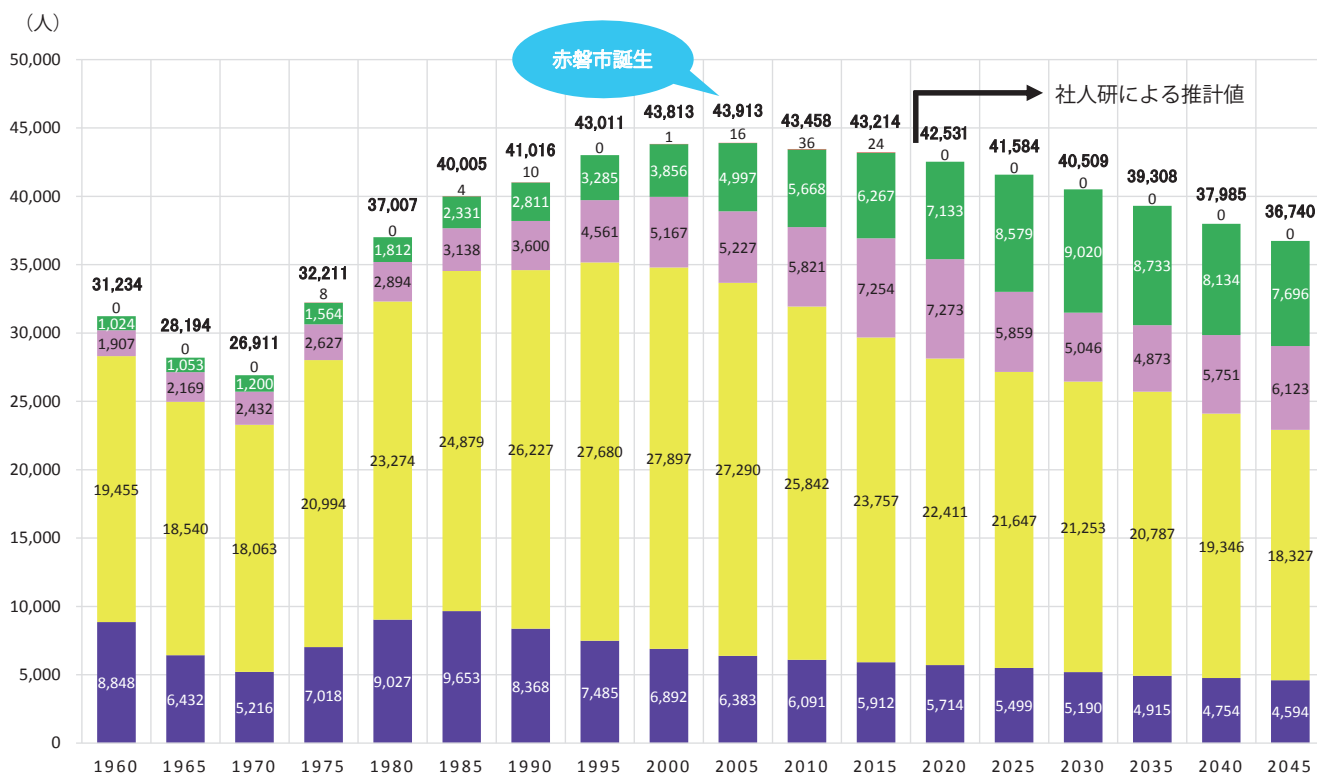
【人が集まり、快適に住み続けられるまちを創ります】

良質な雇用の拡大、まちの賑わいの創出、都市機能の充実等により、若者を始めとした幅広い世代に訪れてみたい、住んでみたいと思われるまちを創ります。

医療・保健・福祉の充実、出産・子育て・教育環境の充実、防災・防犯体制の充実、高齢者の社会参画支援等により、若者が安心して家庭を持ち子育てができる環境づくりと高齢者が生きがいを持って暮らしていける環境づくりを進め、いつまでも住み続けたいと思われるまちを創ります。

年齢4区分別人口の推移と将来推計

■ 14歳以下 ■ 15～64歳 ■ 65～74歳 ■ 75歳以上 ■ 年齢不詳



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年3月推計）」